



01



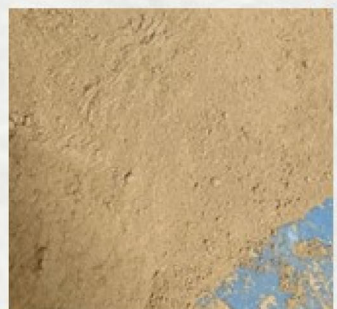
02



03



04



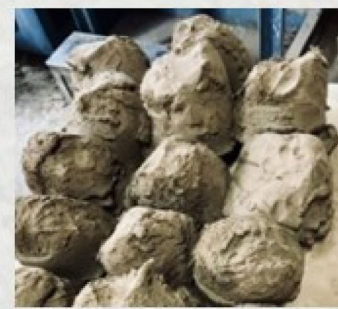
05



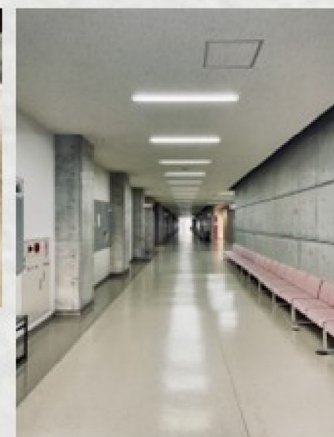
記念品に込めた思い

この先不安に駆られる時や思い通りにいかない時がたくさんくる。そんな時はこのキャンパスでの学びや仲間と過ごした思い出、そして大学で成長した自分を振り返り、「これまでの自分がこれからの自分を支えてくれる」ことを胸に、「もう少し頑張ろう」と少しの勇気を持つ、そんな時間を味わいながら一息ついて欲しい。

皆さんが自分を受け入れ、前に進むことが出来る様に、この記念品が皆さんのこれからを陰ながら支える存在になることを願っています。



06

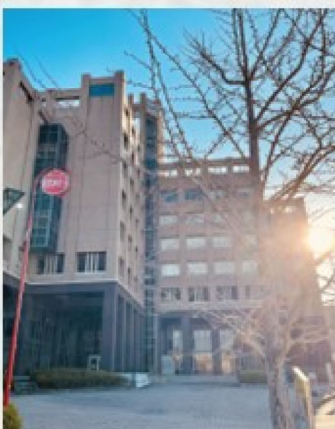


- 01 菱三陶園へ依頼（煙突）
- 02 記念品構想（菱三陶園議場）
- 03 立命館の土の収集（作業の様子）
- 04 土の粉碎（粉碎機）
- 05 原料（微粉末になった立命館の土）
- 06 型取り（成形した粘土）
- 07 焼成（陶芸窯）
- 08 試作検討（試作品1号）
- 09 塗料の配合と塗装（塗料）
- 10 完成（2024年度卒業記念品）

卒業記念品制作委員一同
菱三陶園様
経済学部事務室



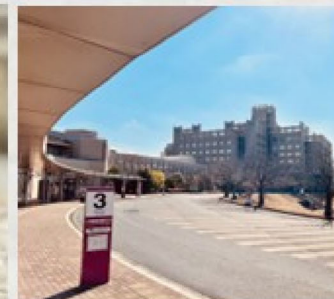
07



08



09



10

卒業おめでとうございます。

二〇二四年度卒業記念品は、滋賀県の伝統産業である信楽焼の陶器プロダクトです。長年依頼主との直接対話を通じて想いのコアを汲み取り形象化してきた菱三陶園様とのコラボにより、私たち卒業生の想いを形にした記念品を作成しました。特筆すべきは、粉砕工程に立命館の土を原料の一部として使用していること、塗装や刻印などに立命館らしさを盛り込んでいる点です。日本中探してもここにしかない、唯一の記念品となっています。

本紙表面には、私たち卒業記念品班が記念品作成にあたって込めた想いと菱三陶園当主・小川様からのコメントを記載しております。また、記念品完成に至るまでの過程も紹介しています。裏面には、記念品の特徴や工夫を記載しておりますので、是非ご覧ください。

立命館大学経済学部
二〇二四年度卒業記念品